



我孫子市
Abiko city

令和7年11月26日
定例記者会見資料

市内東部エリア(湖北・新木・布佐) JR 成田線沿線に特化した移住 PR を 都心で働く女性向けフリーペーパー11月28日号で初めて実施

更なる転入者の獲得に向けて、都心の企業で働く女性向けフリーペーパー「シティリビング東京11月28日号」で、10月24日号に続き、市の移住PRを実施します。

今号は、市内東部エリア(湖北・新木・布佐)のJR成田線沿線に特化した移住情報を特集します。市内でもより自然豊かで、若い子育て世帯が、家計に無理なく広い戸建てが手に入る地価や、都心へのアクセスも良いことなど、コスパの高い東部エリアの魅力を移住者の声も交えながらPRしています。

10月24日号の常磐線沿線に加えて、市内には、成田線の沿線にも魅力的な住宅地があることを、11月28日号の移住PRを通じてアピールし、10年連続の人口の社会増を目指します。

東部エリア
在住1年

小山さんファミリーに
住み心地を聞きました



2024年9月に、南柏から湖北へ。希望通りの戸建てを新築した小山さん大妻。夫・激斗さん(31歳)と妻・沙織さん(30歳)はともに理学療法士。2025年2月に第一子が誕生

自然が多く、のどかな環境
公園の多さにもびっくり!

湖北に住んでみて、比較的車の通りが少なく、静かで子育てにとってもいい環境だと実感しています。お祭りなどに行くと、おすさんがたくさん参加していて、子どもがいる家庭を迎え入れる雰囲気がありますね。我孫子市はLINE相談や支援センターなど子育て支援が充実しているのも心強く、我孫子での子育てを楽しんでいます。近所に広い園庭のこども園があって、すでに入園予約も済み、子どもの成長も楽しみです。



湖北中央公園



▲10月24日号

フリーペーパー「シティリビング東京」10月24日号・11月28日号に連載

発行数:約11万部

配布場所:千代田・中央・港区など都心中心の都内
約5,600オフィス

サイズ:タブロイド判16ページ(市の広告:11月28日号1頁、10月24日号2頁)

※シティリビング東京WEBでも移住PR広告を掲載
(<https://city.living.jp/r-tokyo/>)

【問い合わせ】

我孫子市 企画総務部 秘書広報課
あびこの魅力発信室
担当:深田、奈良
電話:04-7185-2493(直通)

【内容の一部を紹介】

◎湖北・新木・布佐 東部の特徴ある3エリア

1. 湖北～地域イベントが盛んな共同性の高い街～

個性的な店舗が充実している湖北。駅前イルミネーションや地域のイベントなども盛ん。

2. 新木～緑地や公園が多く子育てに優しい街～

整った街並みと、ゆとりある住宅が並ぶエリア。大きな公園をはじめ、自然豊かな広場も多い。

3. 布佐～“ちょうどいい田舎感”が暮らしやすい街～

300年の歴史を誇るお祭りや、歴史的建造物が点在。風情ある街並みでのんびり暮らせる。



地域イベントが盛んな 共同性の高い街

湖北は、我孫子駅から成田線で2駅。駅周辺にスーパーや保育園、小・中学校があり、暮らしに必要な環境が整った暮らしやすい街です。公園や緑地も多く、小売店や飲食店が充実していて、個性的な店が豊富！ 冬には駅前ロータリーがイルミネーションで彩られるなど、行事やイベントも盛んです。



JR湖北駅南口イルミネーション



緑地や公園が多く 子育てに優しい街

新木は、静かで安心して暮らせる住宅地が広がるエリアです。近年、バリアフリーに対応した新しい駅舎に改修され、通勤・通学に使いやすいのも利点。近隣には「气象台記念公園」や「丘の公園」など、自然豊かな広場も多く、家族の時間を大切にしながら、落ち着いた雰囲気です。



新木の街並み



“ちょうどいい田舎感”が 暮らしやすい街

江戸時代から交通の要所だった布佐。約300年の歴史を誇る竹内神社の例大祭の賑わいや、歴史的建造物などが点在する風情のある街並みが魅力です。駅周辺に広がる住宅地は静かで安心感があり、利根川沿いの桜並木や手賀沼への散歩道など、のんびりと暮らしやすい環境が整っています。



9月の竹内神社例大祭

◎近隣市から移住した家族のインタビュー 小山さんファミリー（令和6年9月に柏市から移住）

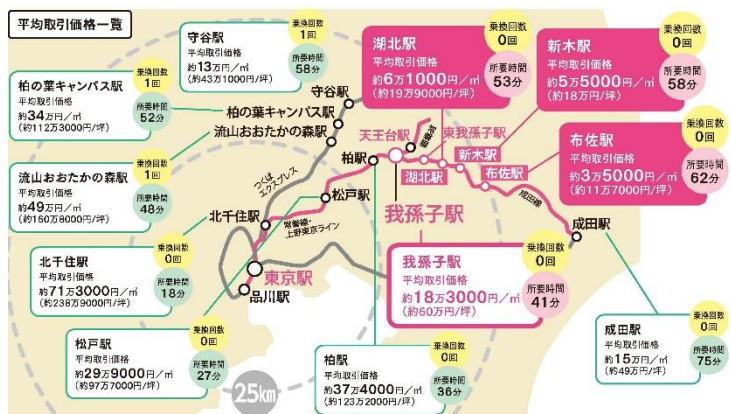
令和6年9月、柏市から湖北に転居し、理想のマイホームを手に入れた小山さんファミリーは、駅から近くても静かで、近所に公園も多い環境に満足していること、また、広い園庭のある近隣のこども園の入園予約も終わり、子どもの成長が楽しみだ、と話しています。

理想のマイホームとして譲れなかった「車通りが少なく、静かな子育て環境」を探し、湖北にたどり着いた小山さんファミリー。令和7年2月に第一子が誕生し、子育て支援の充実度、自然や公園の多さに大満足の様子。



◎緑あふれる環境で暮らす贅沢を高コスパで実現！

我孫子駅周辺よりも土地価格が 3 分の1程度と、手頃な価格で手に入る東部エリア。土地も広く、家計にゆとりあるマイホームの夢が叶います。



※各駅の平均取引価格(11年度と12年度)を表示。※出典:国土交通省「不動産価格データベース」を基に、サンタインリアルティ調べ(調査時期:2024年7月～2025年6月)。※所要時間は東京駅までの片道時間、月曜9:30頃に乗換回数がなく、最速で到着する経路(乗り換え時間などを含む、有料線や有料道路は除く。2025年10/20時点)1kmあたりを基準とする。



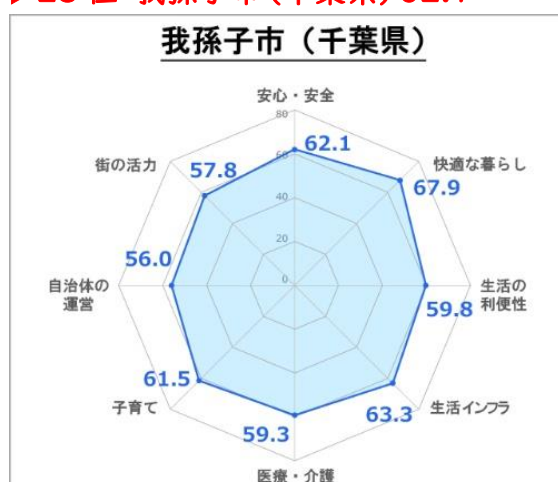
▲新木の街並み

◎シティブランド・ランキング 2025 ビジネスパーソン2万人に聞く「住みよい街」

日経 BP 総合研究所が運営するウェブサイト「新・公民連携最前線」は、働く世代2万人を対象に調査を実施し「シティブランド・ランキング ー住みよい街 2025ー」の TOP200 をまとめました。全国のビジネスパーソン約2万人が、実際に自分が住んでいる自治体の「住みよさ」を評価しました。

働く世代2万人を対象としたアンケート調査の結果、ビジネスパーソンが考える住みよい街の首位は千代田区（東京都）でした。以下、2位・港区、3位・中央区（東京都）と続き、東京の「都心3区」が全国の住みよい街のトップ3を占めました。トップ30を見てみると、東京都の自治体が圧倒的に多く15団体がランクインしています。トップ30に複数自治体がランクインした都道府県は、東京都以外では、千葉県（3団体 流山・浦安・我孫子）、愛知県、大阪府、兵庫県、福岡県（各2団体）の1府4県でした。

▶23位 我孫子市（千葉県）62.7



※我孫子市の総合スコアは62.7（1位の千代田区は70.1）。

「快適な暮らし」、「生活インフラ」「安心・安全」、「子育て」の4項目で60以上を獲得。中でも、「快適な暮らし」における【公園が多い】で全体4位、【街が静か】で全体8位と高評価です。

その他にも、「子育て」項目で【保育所、幼稚園、認定こども園などが充実している/入りやすい】、【子ども向けの体育・文化活動が盛ん】や【子どもを遊ばせる場所が多い】といった子育て環境への評価が高い結果が出ました。

順位	自治体名	順位	自治体名	順位	自治体名
1位	千代田区（東京都）	11位	長久手市（愛知県）	21位	浦安市（千葉県）
2位	港区（東京都）	11位	吹田市（大阪府）	22位	大野城市（福岡県）
3位	中央区（東京都）	13位	新宿区（東京都）	23位	我孫子市（千葉県）
4位	大村市（長崎県）	14位	渋谷区（東京都）	23位	世田谷区（東京都）
5位	武蔵野市（東京都）	15位	品川区（東京都）	25位	江東区（東京都）
6位	文京区（東京都）	16位	流山市（千葉県）	26位	目黒区（東京都）
7位	明石市（兵庫県）	17位	京田辺市（京都府）	26位	三鷹市（東京都）
8位	西宮市（兵庫県）	18位	国分寺市（東京都）	28位	札幌市（北海道）
9位	府中市（東京都）	18位	稲城市（東京都）	28位	三島市（静岡県）
10位	福岡市（福岡県）	20位	桑名市（三重県）	28位	豊川市（愛知県）
				28位	箕面市（大阪府）